

平成26年度検討業務の 結果について

～現況地盤活用案による上流部への影響～

平成27年11月16日

江川流域づくり支援会議(第二期)

現況地盤活用案による上流域の影響

目的：現況地盤活用案(H22)は下流部1.31kmまで。
上流への影響を確認していない。

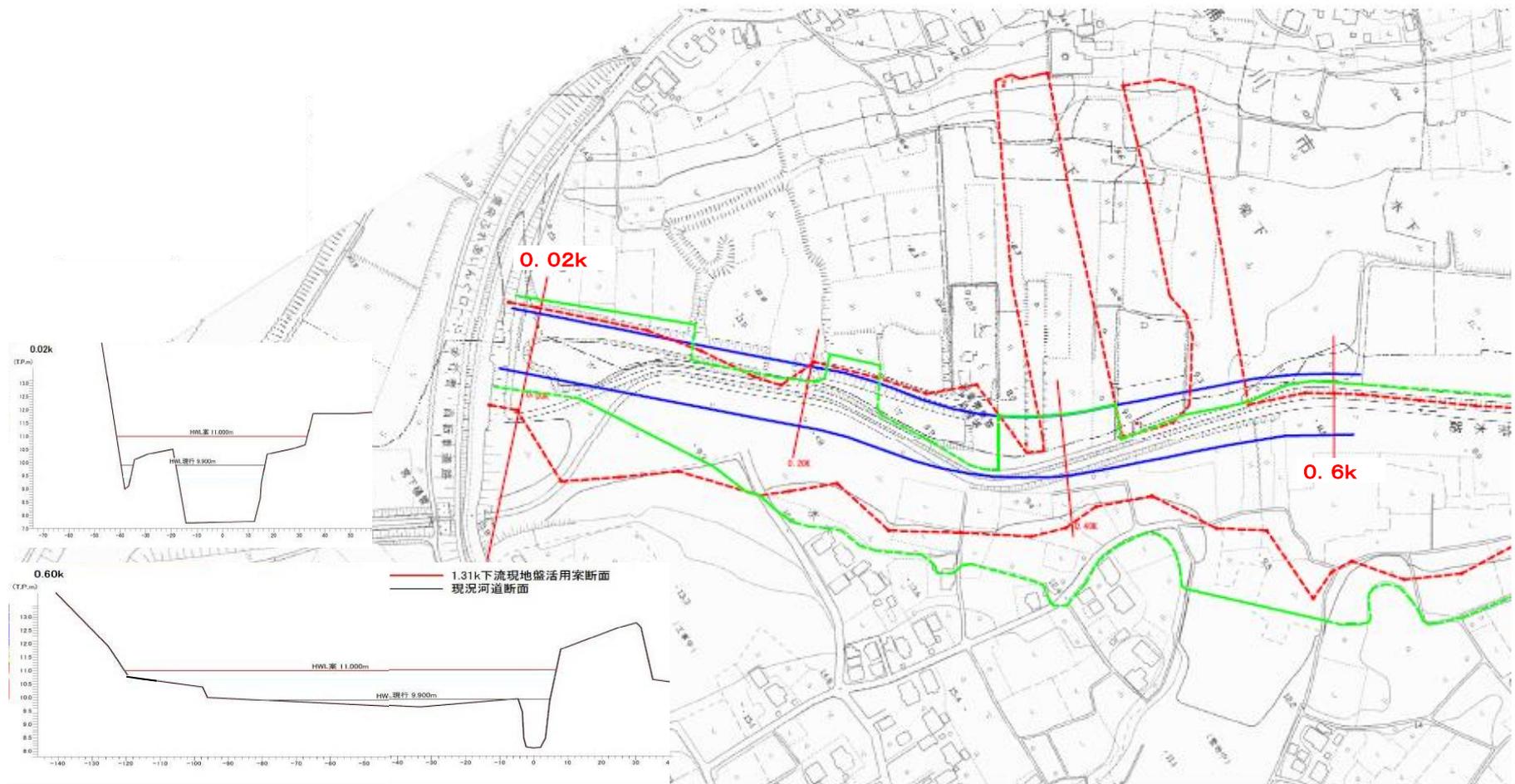


現況地盤活用案で整備した場合の、
上流部における影響について確認した。

- 検討方針：
- ① 詳細な測量結果を用い、
不等流計算モデルによる水位計算
 - ② 宮下樋管は改修を前提

江川平面図1

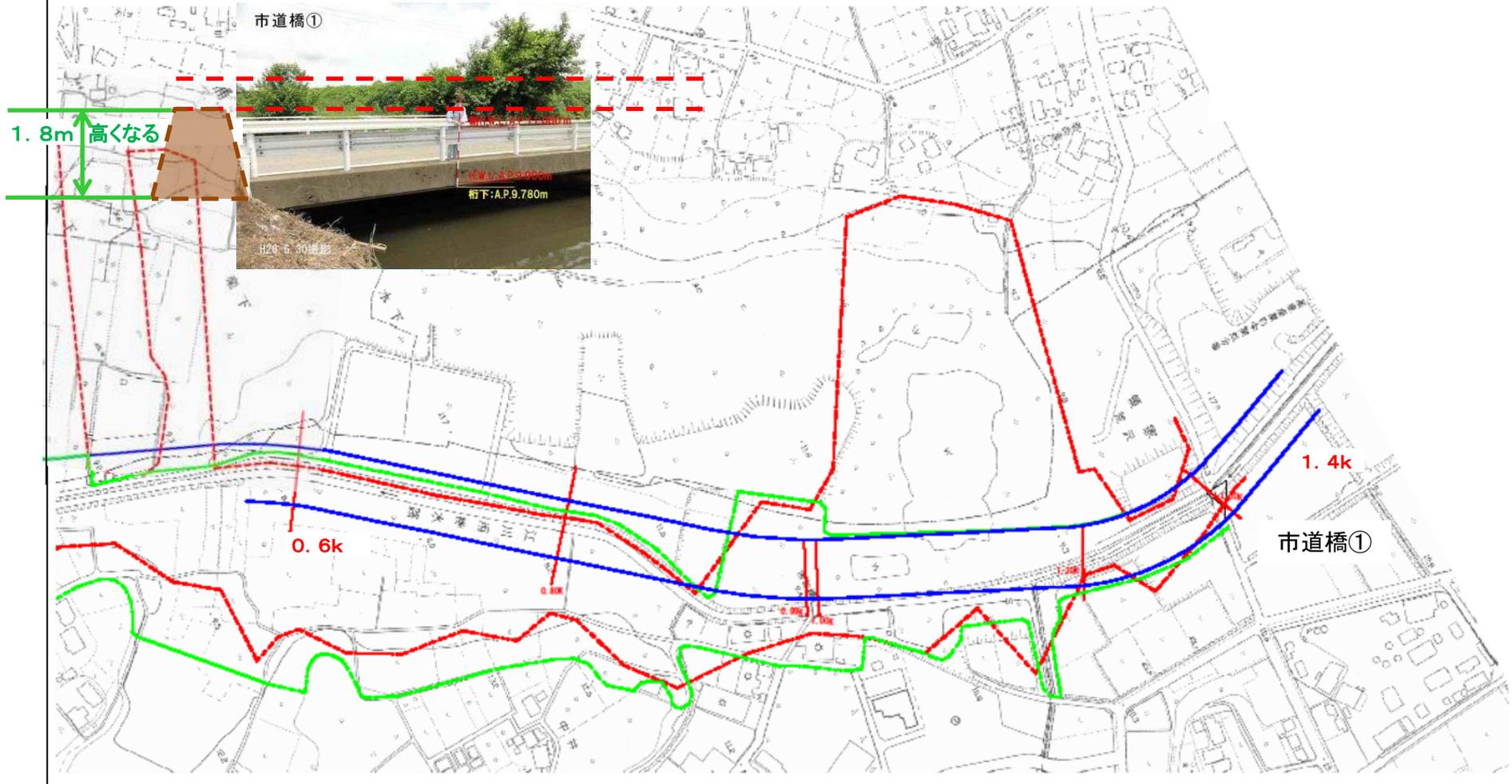
(0.0km~0.6km付近)



橋梁への影響

江川平面図2

(0.6km~1.4km付近)



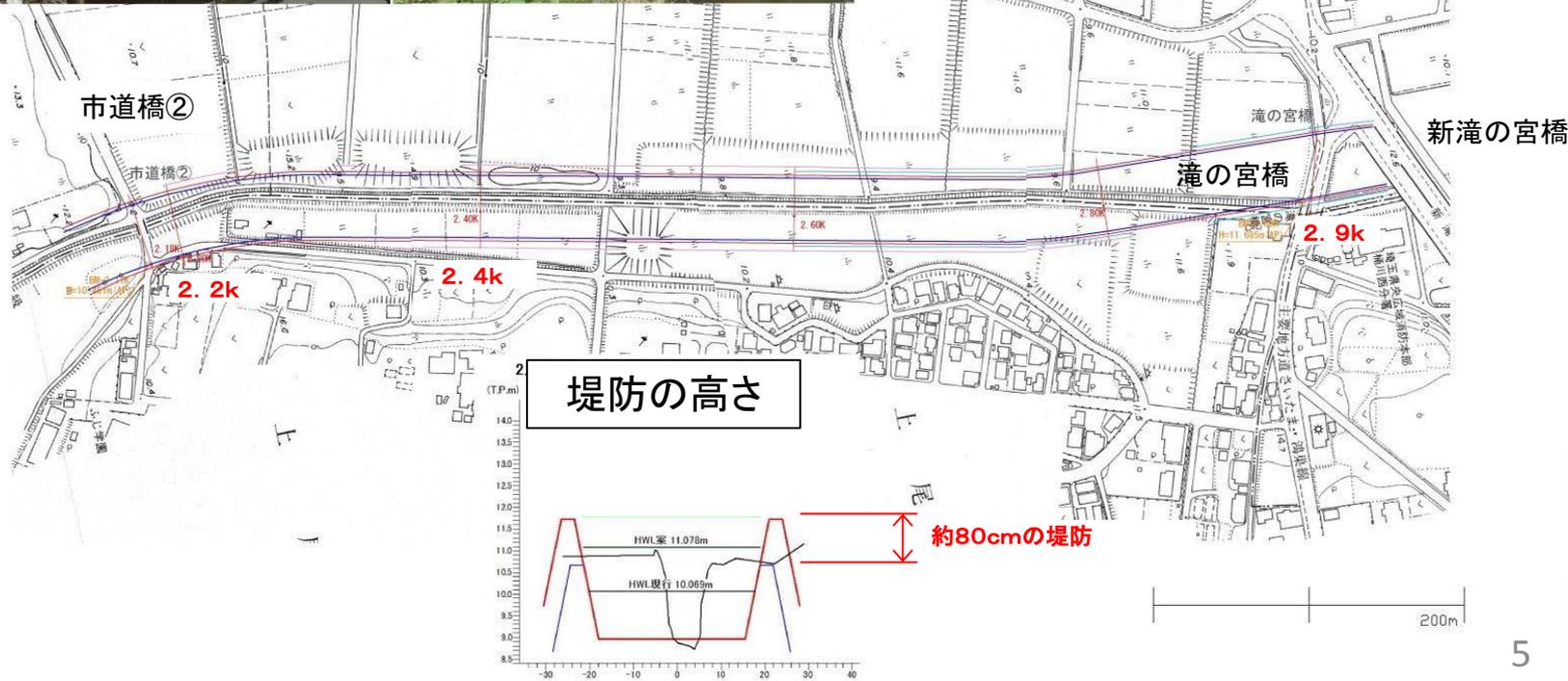
江川平面図4

(2.2km~2.9km付近)



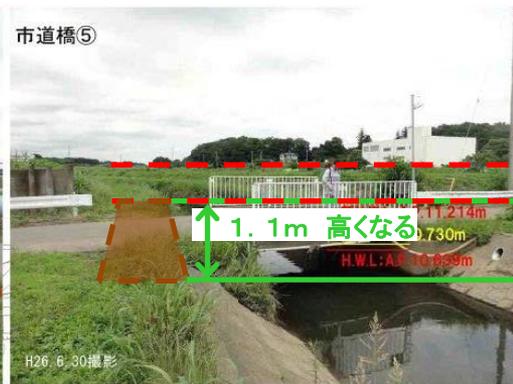
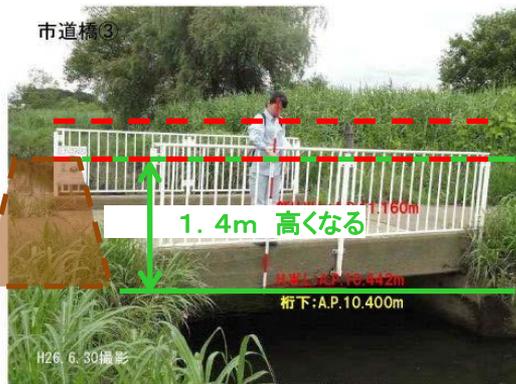
1.6m 高くなる

0.8m 高くなる



江川平面図5

(2.9km~3.7km付近)



今後の河川整備について

下流区間は環境への影響もほとんど懸念
されない**現況地盤活用案**を採用すべき

～江川流域づくり支援会議の提言(H22.1)～



上流域では、堤防が高くなる

～平成26年度検討業務の結果～



現況地盤活用案を基本とし、
治水と環境の両立する河川計画が必要